

## 社会福祉法人六高台福祉会 感動体験集

事業所	地域包括支援センター
対象ゲスト	男性 80代 A様
感動的な場面	<p>事務所で窓口当番をして受付で対応していた時のことです。</p> <p>事務所の前を通過するスリッパを履いて歩いている高齢者を見かけました。 「あれ？」と思い、声をかけてみました。</p> <p>しかし、ご自分の名前も言えず、洋服に目をやると名前が記載してありました。市に確認し、住所が判明しご自宅までお送りしました。</p> <p>ご家族様（奥様）より 「常に徘徊してしまい、警察にもお世話になっています。搜索願いを出すところでした。以前は市外まで徘徊し、2日間行方不明の時もありました。」 「本当にありがとうございました。」</p>
感動のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談を受け付けるという受動的な姿勢だけでなく、街の中の日常のちょっとした異変に気づくことの大切さを再確認できたこと。</li> <li>・ご家族様（奥様）の安堵した表情が印象的であり、ダイレクトにお役に立てたかなあ。という場面であったこと。（やりがい）</li> </ul>

**私たちの仕事（介護）、私たちの法人は、このようなことを行っている会社です。**